

● 短期アウトカム（目指す状態）／2027 年 2 月ごろ

本事業と一緒に取り組む実行団体とともに、資金分配団体が実現したいアウトカム（目指す状態／1 実行団体あたり）を以下のように考えています。ただし、申請設定するアウトカムについては、申請団体や地域特性、知見、資源を活かした提案も歓迎します。

短期アウトカム	指標	目標値・状態
実行団体の事業実施の結果、農業を通じて地域の就労困難者が生き生きと就労できている。	就労者の能力やモチベーション	就労者、受入農家、福祉法人等へのアンケートやヒアリングの結果、就労者の能力やモチベーション（できること、出勤率、労働意欲）が向上している。
事業実施地域において、実行団体の農福連携の推進機能が強化され、福祉法人・就労困難者と農業法人への積極的なマッチングが進んだ結果、多様かつ複数の福祉法人と農業法人との連携が進み、農業に参加する就労困難者が増加している。	(1) 本事業に関わる就労困難者の数 (2) 本事業で就労できた就労困難者の数 (3) 就労困難者の多様性（障がい者（A 型・B 型）、ひきこもり等）	(1) 実人数で 200 名以上増える (2) 実人数で 50 名以上増える (3) さまざまな就労困難者（障がいの種類や程度、事情、特性など）が受け入れられている（いずれも福祉法人との請負契約等を含む）
資金分配団体による研修への参加の結果、農福推進リーダーと農業就労サポーターが地域の農福連携の取り組みを推進、支えている。	(1) 開催の数 (2) 参加者の数 (3) 参画福祉法人の数 (4) 受入農業法人の数	(1) 1 つ以上増える (2) 20 名以上増える (3) 企業や地域住民・学生など多様なボランティアが多様な形で関わっている (4) ボランティア以外のパートナーシップが生まれている（購入ルート等）
事業実施地域において、作業分解の取り組みや施設整備、就労困難者の作業習熟により、全体としての生産性が上がり、生産量が増加している。	生産性の向上（労働時間に対する成果物の増加）	平均 10% の向上
事業実施地域において、新規商品開発、協力企業の獲得、新規販売ルートへの営業等を通じて、農福連携を通じた農作物や六次化商品の種類が増え、販路が拡大し、地域農業にも寄与している。	(1) 生産品目の増加 (2) 農福連携を通じた農作物の販売ルートの確保 (3) 農福連携を通じた農作物の販売先の数 (4) 地域マルシェの開催や参加	(1) 1 種類以上増える (2) 1 つ以上増える (3) 5 か所以上増える (4) 年に 2 回以上